

お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・ デベロップメント・ファンド

愛称：地球貢献

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2022年9月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・ファンド」は、2022年9月12日に第1期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2021年11月8日設定）	
運用方針	「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・ファンド」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」の運用方針です。 ①この投資信託は、主として環境・社会貢献に注力している企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に分散投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。 世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



東京都千代田区紀尾井町1丁目3番

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 額 (分配落)	準 価 額			投 資 信 託 純 資 産 額 証 組 入 比 率 総
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率	
(設定日) 2021年11月8日	円 10,000	円 -		% -	% -
1期(2022年9月12日)	10,396	0		4.0	98.6
					百万円 7,369 34,631

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 額	準 価 額		投 資 信 託 純 資 産 額 証 組 入 比 率 総
		騰 落	率	
(設定日) 2021年11月8日	円 10,000		% -	% -
11月末	9,693		△ 3.1	91.5
12月末	9,674		△ 3.3	96.8
2022年1月末	8,642		△13.6	97.0
2月末	8,838		△11.6	97.7
3月末	9,762		△ 2.4	97.5
4月末	9,308		△ 6.9	97.7
5月末	9,360		△ 6.4	96.3
6月末	9,256		△ 7.4	96.5
7月末	9,806		△ 1.9	97.3
8月末	9,874		△ 1.3	98.4
(期 末) 2022年9月12日	10,396		4.0	98.6

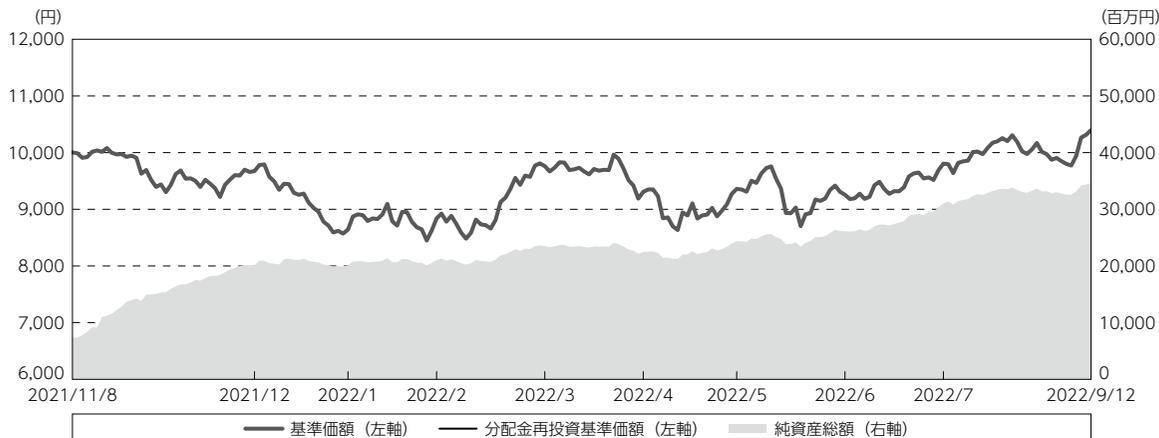
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2021年11月8日～2022年9月12日)

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,396円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：4.0%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、4.0%上昇しました。

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期は日本と米国の金利差が拡大したことなどから、前期末から対円で米ドルが26%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動が基準価額にプラスの影響をもたらしました。世界株式市場は、インフレ抑制のために欧米の主要中央銀行が金融引き締め政策をとり、世界景気の減速懸念が広まったことなどから下落しました。当ファンドが保有する米ドル建てETFも現地通貨ベースでは下落しましたが、前述の為替の効果で基準価額への寄与度としては多くの銘柄がプラス寄与となっています。特に「汚染排出物削減」、「医療民主化」、「栄養改善」テーマで組み入れているETFなどが比較的大きな寄与となっています。一方、日本のETFに投資している「機会均等・人材育成・多様性(日本)」テーマは若干のマイナス要因となりました。

投資環境

世界の株式市場は、期初から2022年1月中旬ごろにかけて、インフレ長期化の見通しが強まり欧米の主要中央銀行がそれまでの金融緩和策を縮小する姿勢を明確にしたことや、新型コロナウイルス変異種（オミクロン株）の感染拡大などを受けて軟調な推移となりました。その後、ウクライナでの地政学リスクが高まると、投資家のリスク回避的な姿勢が強まりさらに下落しました。その後は一時的に上昇する場面もありましたが、ウクライナでの戦争が予想以上に長期化する中、中国で新型コロナウイルス感染拡大を受けて一部の都市が封鎖（ロックダウン）されたことや、欧米において金融引き締めが加速したことによる世界景気の減速懸念などから前期末よりも下落して期末を迎えました。

このような市場環境のなか、ESGに着目したETFも株式市場全体の動きと同様に下落しました。経済の先行き不透明感が広がる中、株価の変動が比較的小さい銘柄を多く含む「医療民主化」や「栄養改善」テーマのETFの下落率が比較的小幅にとどまった一方で、金利が上昇する中でテクノロジー関連成長株の下落幅が大きくなる傾向があったことを受けて、それらの銘柄の組み入れ比率が比較的大きい「スマート・インフラ」や「二酸化炭素排出削減」テーマのETFの一部が大きく下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、環境や社会における課題解決に注力していると考えられる企業を中心に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、テーマごとに定められた客観的な評価尺度を活用しながら投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2021年11月8日～ 2022年9月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	748

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、環境や社会における課題解決に注力している企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券(ETF)に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月8日～2022年9月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	88	0.931	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(43)	(0.456)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.456)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.079	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(7)	(0.079)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	5	0.048	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.024)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	100	1.058	
期中の平均基準価額は、9,421円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

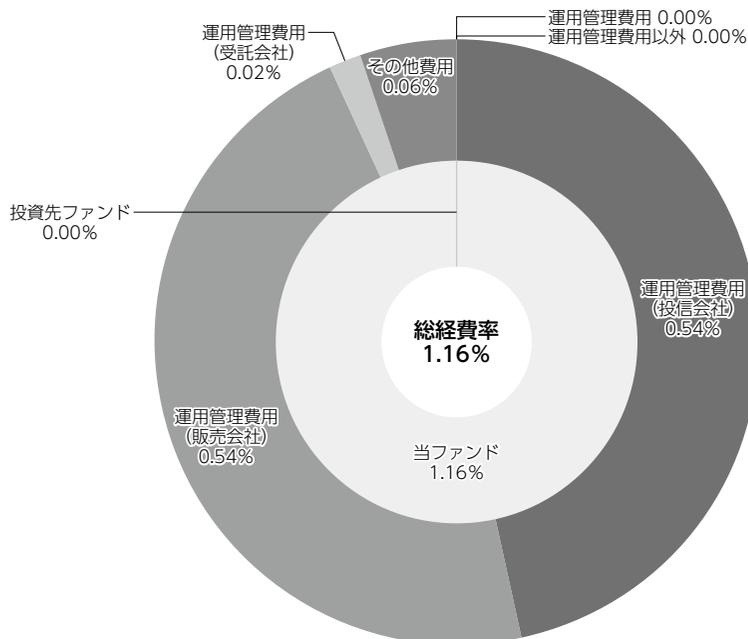
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.16
①当ファンドの費用の比率	1.16
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年11月8日～2022年9月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド	33,574,196	32,519,212	572,570	555,570

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月8日～2022年9月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年11月8日～2022年9月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年9月12日現在)

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド	33,001,626	34,631,906

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年9月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンド	34,631,906	99.5
コール・ローン等、その他	160,990	0.5
投資信託財産総額	34,792,896	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(32,295,730千円)の投資信託財産総額(34,661,488千円)に対する比率は93.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.82円、1ユーロ=143.83円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	34,792,896,867
コール・ローン等	137,365,707
お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・ デベロップメント・マザーファンド(評価額)	34,631,906,369
未収入金	23,624,791
(B) 負債	160,983,209
未払解約金	52,731,868
未払信託報酬	105,915,243
その他未払費用	2,336,098
(C) 純資産総額(A-B)	34,631,913,658
元本	33,313,196,944
次期繰越損益金	1,318,716,714
(D) 受益権総口数	33,313,196,944口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,396円

(注) 当ファンドの設定時元本額は7,369,548,497円、期中追加設定元本額は27,921,182,541円、期中一部解約元本額は1,977,534,094円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0396円です。

○損益の状況 (2021年11月8日～2022年9月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	2,681,982,386
売買益	2,741,422,402
売買損	△ 59,440,016
(B) 信託報酬等	△ 219,646,988
(C) 当期損益金(A+B)	2,462,335,398
(D) 追加信託差損益金	△1,143,618,684
(売買損益相当額)	(△1,143,618,684)
(E) 計(C+D)	1,318,716,714
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	1,318,716,714
追加信託差損益金	△1,143,618,684
(配当等相当額)	(31,021,913)
(売買損益相当額)	(△1,174,640,597)
分配準備積立金	2,462,335,398

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(199,811,630円)、費用控除後の有価証券等損益額(2,262,523,768円)および信託約款に規定する収益調整金(31,021,913円)より分配対象収益は2,493,357,311円(1万口当たり748円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

お金のデザイン・グローバル・ ソーシャル・デベロップメント・ マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2022年9月12日）
（2021年11月8日～2022年9月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2021年11月8日設定）
運用方針	①この投資信託は、主として環境・社会貢献に注力している企業を中心に構成された世界の投資信託証券（ETF）に分散投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 率 率 総
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		%
2021年11月8日	10,000		—		—
1期(2022年9月12日)	10,494		4.9		98.6
					百万円
					7,369
					34,632

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2021年11月8日	10,000		—	—
11月末	9,700		△ 3.0	91.4
12月末	9,690		△ 3.1	96.7
2022年1月末	8,667		△13.3	96.8
2月末	8,870		△11.3	97.4
3月末	9,803		△ 2.0	97.2
4月末	9,358		△ 6.4	97.8
5月末	9,419		△ 5.8	96.2
6月末	9,323		△ 6.8	96.3
7月末	9,884		△ 1.2	97.2
8月末	9,962		△ 0.4	98.2
(期 末)				
2022年9月12日	10,494		4.9	98.6

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

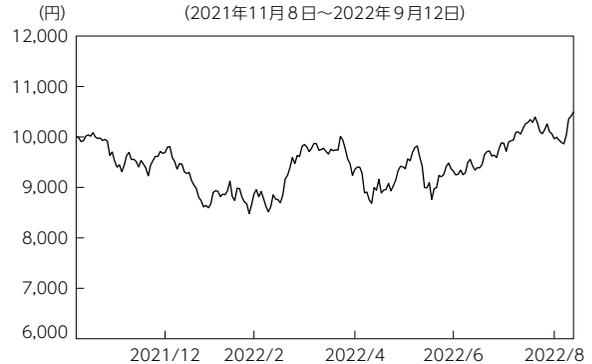
(2021年11月8日～2022年9月12日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、4.9%上昇しました。当期は日本と米国の金利差が拡大したことなどから、前期末から対円で米ドルが26%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動が基準価額にプラスの影響をもたらしました。世界株式市場は、インフレ抑制のために欧米の主要中央銀行が金融引き締め政策をとり、世界景気の減速懸念が広まったことなどから下落しました。当ファンドが保有する米ドル建てETFも現地通貨ベースでは下落しましたが、前述の為替の効果で基準価額への寄与度としては多くの銘柄がプラス寄与となっています。特に「汚染排出物削減」、「医療民主化」、「栄養改善」テーマで組み入れているETFなどが比較的大きな寄与となっています。一方、日本のETFに投資している「機会均等・人材育成・多様性（日本）」テーマは若干のマイナス要因となりました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の株式市場は、期初から2022年1月中旬ごろにかけて、インフレ長期化の見通しが強まり欧米の主要中央銀行がそれまでの金融緩和策を縮小する姿勢を明確にしたことや、新型コロナウイルス変異種（オミクロン株）の感染拡大などを受けて軟調な推移となりました。その後、ウクライナでの地政学リスクが高まると、投資家のリスク回避的な姿勢が強まりさらに下落しました。その後は一時的に上昇する場面もありましたが、ウクライナでの戦争が予想以上に長期化する中、中国で新型コロナウイルス感染拡大を受けて一部の都市が封鎖（ロックダウン）されたことや、欧米において金融引き締めが加速したことによる世界景気の減速懸念などから前期末よりも下落して期末を迎えました。

このような市場環境のなか、ESGに着目したETFも株式市場全体の動きと同様に下落しました。経済の先行き不透明感が広がる中、株価の変動が比較的小さい銘柄を多く含む「医療民主化」や「栄養改善」テーマのETFの下落率が比較的小幅にとどまった一方で、金利が上昇する中でテクノロジー関連成長株の下落幅が大きくなる傾向があったことを受けて、それらの銘柄の組み入れ比率が比較的大きい「スマート・インフラ」や「二酸化炭素排出削減」テーマのETFの一部が大きく下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界的な上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、環境や社会における課題解決に注力していると考えられる企業を中心に分散投資を

行い、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、テーマごとに定められた客観的な評価尺度を活用しながら投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、環境や社会における課題解決に注力している企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2021年11月8日～2022年9月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.079 (0.079)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.024 (0.021) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	9	0.103	
期中の平均基準価額は、9,467円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年11月8日～2022年9月12日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	One ETF ESG	64,644	999,528	30,061	440,095
	ダイワ上場投信MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	341,380	841,036	—	—
	NEXT FUNDS MSCI日本株女性活躍指数(セレクト)	569,730	646,855	132,712	146,107
合計		975,754	2,487,420	162,773	586,203
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	ALPS Clean Energy ETF	152,189	9,829	35,106	2,093
	iShares Ageing Population UCITS ETF	2,329,152	16,734	3,723	26
	UBS Irl ETF plc - Global Gender Equality	417,798	7,138	13,334	215
	iShares Refinitiv Inclusion and Diversit	799,055	5,221	9,005	58
	iShares Smart City Infrastructure UCITS	841,598	5,825	—	—
	Etho Climate Leadership US ETF	46,985	2,530	—	—
	First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	140,793	9,430	25,304	1,564
	First Trust Global Wind Energy ETF	144,023	2,833	7,526	147
	First Trust NASDAQ Clean Edge Smart Grid	102,902	9,923	1,258	114
	FlexShares STOXX Global ESG Select Index	60,592	8,586	585	76
	Global X CleanTech ETF	559,861	9,940	110,360	1,750
	Goldman Sachs JUST US Large Cap Equity E	259,712	16,627	4,473	273
	INVESCO WATER RESOURCES ETF	146,710	8,179	1,159	55
	Invesco MSCI Sustainable Future ETF	268,984	17,447	49,703	2,926
	Invesco Global Water ETF	232,689	9,025	2,831	93
	iShares Global Healthcare ETF	193,575	16,586	8,495	706
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	737,770	16,221	128,556	2,690
	iShares Global Consumer Staples ETF	268,166	16,533	16,687	1,021
	iShares U.S. Medical Devices ETF	288,020	17,310	195	11
	iShares ESG Aware MSCI USA ETF	41,542	4,182	481	46
	iShares Trust iShares ESG Aware MSCI EAF	59,852	4,471	730	49
	Nuveen ESG International Devel	402,048	12,037	6,118	161
SPDR GENDER DIVERSITY ETF	107,117	10,267	572	53	
Siren Nasdaq NexGen Economy ETF	230,953	8,866	195	5	
VanEck Environmental Services ETF	9,142	1,370	641	93	
VanEck Low Carbon Energy ETF	118,679	18,288	5,732	804	
小計		8,959,907	265,410	432,769	15,041

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月8日～2022年9月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月12日現在)

国内投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末	
		評 価 額	比 率
One ETF ESG	34,583	519,263	1.5%
ダイワ上場投信MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	341,380	849,353	2.5%
NEXT FUNDS MSCI日本株女性活躍指数(セレクト)	437,018	482,030	1.4%
合 計	812,981	1,850,648	
	3	<5.3%>	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末		比 率
		評 価 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
ALPS Clean Energy ETF	117,083	7,767	1,109,323	3.2
iShares Ageing Population UCITS ETF	2,325,429	15,121	2,159,595	6.2
UBS Irl ETF plc - Global Gender Equality	404,464	6,236	890,744	2.6
iShares Refinitiv Inclusion and Diversit	790,050	5,003	714,583	2.1
iShares Smart City Infrastructure UCITS	841,598	5,024	717,660	2.1
Etho Climate Leadership US ETF	46,985	2,505	357,767	1.0
First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	115,489	7,728	1,103,787	3.2
First Trust Global Wind Energy ETF	136,497	2,477	353,825	1.0
First Trust NASDAQ Clean Edge Smart Grid	101,644	8,846	1,263,396	3.6
FlexShares STOXX Global ESG Select Index	60,007	7,445	1,063,332	3.1
Global X CleanTech ETF	449,501	7,587	1,083,657	3.1
Goldman Sachs JUST US Large Cap Equity E	255,239	14,899	2,127,910	6.1
INVESCO WATER RESOURCES ETF	145,551	7,520	1,074,094	3.1
Invesco MSCI Sustainable Future ETF	219,281	12,518	1,787,928	5.2
Invesco Global Water ETF	229,858	7,474	1,067,576	3.1
iShares Global Healthcare ETF	185,080	15,063	2,151,392	6.2
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	609,214	13,969	1,995,092	5.8
iShares Global Consumer Staples ETF	251,479	14,769	2,109,360	6.1
iShares U.S. Medical Devices ETF	287,825	15,395	2,198,822	6.3
iShares ESG Aware MSCI USA ETF	41,061	3,725	532,012	1.5
iShares Trust iShares ESG Aware MSCI EAF	59,122	3,711	530,102	1.5
Nuveen ESG International Devel	395,930	9,914	1,415,929	4.1
SPDR GENDER DIVERSITY ETF	106,545	8,775	1,253,252	3.6
Siren Nasdaq NexGen Economy ETF	230,758	6,216	887,857	2.6
VanEck Environmental Services ETF	8,501	1,273	181,943	0.5
VanEck Low Carbon Energy ETF	112,947	15,093	2,155,597	6.2
合 計	8,527,138	226,064	32,286,548	
	26	-	<93.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2022年9月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	34,137,196	98.5
コール・ローン等、その他	524,292	1.5
投資信託財産総額	34,661,488	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (32,295,730千円) の投資信託財産総額 (34,661,488千円) に対する比率は93.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.82円、1ユーロ=143.83円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	34,661,488,906
コール・ローン等	524,292,572
投資信託受益証券(評価額)	34,137,196,334
(B) 負債	28,987,791
未払金	5,363,000
未払解約金	23,624,791
(C) 純資産総額(A-B)	34,632,501,115
元本	33,001,626,043
次期繰越損益金	1,630,875,072
(D) 受益権総口数	33,001,626,043口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,494円

(注) 当ファンドの設定時元本額は7,369,548,497円、期中追加設定元本額は26,204,648,270円、期中一部解約元本額は572,570,724円です。

(注) 2022年9月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・お金のデザイン・グローバル・ソーシャル・デベロップメント・ファンド
33,001,626,043円

(注) 1口当たり純資産額は1.0494円です。

○損益の状況 (2021年11月8日~2022年9月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	241,364,046
受取配当金	241,318,104
受取利息	45,293
その他収益金	649
(B) 有価証券売買損益	2,433,220,079
売買益	6,107,165,592
売買損	△3,673,945,513
(C) 保管費用等	△ 5,725,429
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,668,858,696
(E) 追加信託差損益金	△1,054,984,012
(F) 解約差損益金	17,000,388
(G) 計(D+E+F)	1,630,875,072
次期繰越損益金(G)	1,630,875,072

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。